⑭　技術提案の採否　技術提案の採否については、平成29年３月22日（水）に通知する。

本公告における選抜された者以外による技術提案については評価を行わず、採否の通知も行わない。技術提案により競争参加資格を認められた者は、当該提案に基づく入札を行い、標準案により競争参加を認められた者は、標準案に基づく入札を行うことを条件とする。

⑮　評価の担保

１）受注者の責めにより、「トンネル本体の品質・耐久性向上に関する施工計画」の入札時の技術提案及び技術提案に係わる具体的な施工計画を遵守できなかった場合は履行できなかった提案項目を「否」とした上で、技術提案全体（具体的な施工計画を含む）の再評価を行い当初契約時に取得した加算点との差額分に相当する額（詳細は入札説明書による）を違約金として徴収するとともに、工事成績評定点の減点を行うものとする。工事成績評定点の減点は、遵守できなかった評価項目毎に「当初契約時の加算点」と「不履行となった提案項目を「否」とした上で、技術提案書の再評価を行い、決定した加算点」との差分を減点する。

ただし、違約金は、当初契約額の10％を限度、工事成績評定点の減点は最大10点を限度とし、特に悪質な場合は、最大20点を限度に減点するものとする。また、低入札価格調査制度調査対象工事については、評価項目毎に「満点」に相当する点を減点する。

２）ワーク・ライフ・バランス等推進企業の評価　受注者の責めにより、申請した認定等の取り消しがあった場合等については、加算点の満点に相当する点を限度として工事成績評定点の減点を行うものとする。

⑯　契約締結後のＶＥ提案　契約締結後、受注者は、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、発注者に提案することができる。提案が適正と認められた場合には、設計図書を変更し、必要があると認められる場合には請負代金額の変更を行うものとする。ただし、総合評価における評価項目については契約締結後のＶＥ提案の対象外とする。

詳細は特記仕様書等による。

⑰　一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加　上記２⑵に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記４⑷により申請書を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認及び一次審査の結果の通知を受けていなければならない。当該一般競争参加資格の認定に係る申請は、「競争参加者の資格に関する公示」（平成28年10月３日付け国土交通省大臣官房地方課長、国土交通省大臣官房官庁営繕部管理課長公示）別記に掲げる当該者（当該者が経常建設共同企業体である場合においては、その代表者。）の本店所在地（日本国内に本店がない場合においては、日本国内の主たる営業所の所在地。以下同じ。）の区分に応じ、同別記に定める提出場所において、随時受け付ける。また、当該者が申請書及び資料を提出したときに限り、中国地方整備局総務部契約課（〒730―8530 広島県広島市中区上八丁堀６―30　電話082―221―9231）においても当該一般競争参加資格の認定に係る申請を受け付ける。

⑱　工事費内訳書の提出

①　本工事の競争参加者は、第１回の入札書に記載される入札価格に対応した工事費内訳書の提出を求める。工事費内訳書の様式については配付されるものを使用してもよいが、それによらない場合は入札説明書別記様式７により表計算ソフト（Excel2010等）で作成すること。

電子による入札の場合は、入札書に工事費内訳書ファイルを添付し同時送付すること。紙による入札を行う場合には、押印及び記名を行った工事費内訳書を提出するとともに、電子データを併せて提出すること。なお、当該工事費内訳書及びデータの記録媒体は、表封筒と入札書を入れた中封筒の間に入れて、表封筒及び中封筒に各々封緘をして提出すること。

②　工事費内訳書は、発注者名、商号又は名称、住所及び工事名を記載し、入札価格に対応した工事区分、各工種、種別及び細別に相当する項目に対応するものの単位、員数、単価及び金額を表示したものとする。なお、少なくとも数量総括表に掲げる項目は全て記載すること。

入札の際に工事費内訳書が未提出又は提出された工事費内訳書が未記入である等不備がある場合は、当該工事費内訳書の提出業者の入札を無効とすることがある。

また、提出された工事費内訳書を必要に応じ公正取引委員会に提出する場合がある。

注）電子入札システムにより工事費内訳書を提出する場合には押印は不要である。

なお、紙入札方式による場合は、押印すること。

⑲　低入札価格調査制度調査対象工事の場合には、不当廉売の疑いがあるものとして公正取引委員会に報告することがある。

⑳　本案件は、資料提出及び入札等を電子入札システムで行うものであり、対応についての詳細は入札説明書による。

㉑　詳細は入札説明書による。

㉒　本工事は、当該工事に係る平成29年度予算が成立し、予算事務手続が整った場合についてのみ、開札の手続きを行うことを条件とする。

6　Summary

⑴　Official in charge of disbursement of the procuring entity : Takahide Maruyama Director-General of Chugoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

⑵　Classification of the services to be procured : 41

⑶　Subject matter of the contract : Construction work of Shizumanima-Rord Takuno tunnel

⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 5 : 00 P.M. 27 December 2016

⑸　Time-limit for the submission of technical proposal : 5 : 00 P.M. 10 February 2017

⑹　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system 10 : 30 A.M. 20 April 2017 (tenders brung with 10 : 30 A.M. 20 April 2017 or submitted by mail 10 : 30 A.M. 20 April 2017)

⑺　Contact point for tender documentation : Contract Division, General Affairs Department, Chugoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, 6―30, Kami-hacchobori, Nakaku, Hiroshima 〒730―8530 TEL 082―221―9231 Extension 2526

## 入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成 28 年 12 月 15 日

独立行政法人

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

契約担当役

鉄道建設本部大阪支社長　蓼沼　慶正

◎調達機関番号　565　◎所在地番号　27

**○大支公告第 62 号**

1　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名　北陸新幹線、福井橋りょう他（電子入札対象案件）

⑶　工事場所　福井県福井市下河北町地内、太田町地内、半田町地内及び二上町地内

⑷　工事内容　本工事は、北陸新幹線、高崎起点426km179m～428km011m（Ｌ＝1,832m）間のうち、ラーメン高架橋20連（６～３径間）、ＲＣ橋脚26基、ＲＣ場所打Ｔ桁橋31連（Ｌ＝20m～８m）、場所打杭49本（ラーメン高架橋28本、ＲＣ橋脚21本）、鋼管杭367本（ラーメン高架橋178本、ＲＣ橋脚189本）、オープンケーソン基礎４基、橋面工、防音壁、河川付替、工事用道路他の工事である。

⑸　工期　36箇月間

⑹　使用する主な資機材

生コンクリート　約36,000㎥

鉄筋　約7,200ｔ

⑺　本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。